



令和6年4月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## テングサ作柄調査が始まりました

令和6年の漁期に向けたテングサ作柄調査が3月14日の白浜地区から始まりました。伊豆地域の12地区の約30地点で潜水調査を実施する予定です。調査では、目視で漁場周辺のテングサの状況を観察するとともに、1㎡の範囲のテングサを採取して着生状況を把握します。調査は4月下旬まで実施する予定です。

既に調査が終了した伊豆東岸の地点では、着生量が昨年より減少傾向でした。明確な理由はわかりませんが、冬季水温の上昇等が考えられます。

全地区の調査が終了した後、令和6年のテングサ作柄予察として、5月中旬頃にお知らせする予定です。



←テングサ漁場での  
枠取り調査の様子

モク類の間に→  
着生する  
テングサ



解説：テングサの利用

テングサを煮出した液を固めたものが「ところてん」  
ところてんを凍結、脱水して乾燥したものが寒天になる

## 市民講座でキンメダイの講演

3月7日、下田市教育委員会が開催した水産・海洋学講座において、当场職員が「キンメダイを増やす取組」について講演しました。

伊豆地域の重要魚種であるキンメダイについて、漁業や生態、漁業者による資源管理のほか、人工ふ化や仔魚飼育など資源を増やすための最新の研究内容も紹介しました。

約30名の聴講者の中にはキンメダイに関わる漁業者もいて、活発な質疑がありました。

講演内容は地元テレビ2局で放映され、後日、下田市教育委員会生涯学習課のYouTubeチャンネルから公開される予定です。



↑ 市民文化会館大会議室、西伊豆からの参加もありました

## 南伊豆青年部が全国交流大会で受賞

白浜115号にて、伊豆漁協南伊豆支所青年部が全国交流大会に推薦された記事を掲載しました。3/6～3/7に今大会が開催され、南伊豆青年部は見事、「農林中央金庫理事賞」を受賞しました。発表内容は青年部が長年開催している「水産教室」に関してでしたが、審査委員からは反省会などを通して企画の試行錯誤を行ってきたこと、遊漁船業やダイビング案内業を営んでいるメンバーのノウハウが活かされていることなどが評価されました。



↑ 発表の様子



↑ 発表者の平山善太郎さん(右)  
補助者の鈴木 萌さん(左)

解説：【全国交流大会とは】正式名は全国青年・女性漁業者交流大会。全国から推薦を受けた漁業者団体の活動の発表・交流会で、水産業・漁村の発展と活性化を図る。

4月の予定 ●テングサ作柄調査（各地） ●アワビ測定 ●イセエビ測定 ●キンメダイの親魚採捕調査

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。